

高校生の進路と親の役割

1. 思春期の子育ては進路支援

子供の進路先を知り、過保護にしない
自分のことは自分で考えて決めさせる
子供はハングリーでハードがいい

.....

.....

.....

.....

2. 大学卒業時 就職 70%、未就職 30%

フリーター・ニートの原因は親の過保護
生涯賃金は正社員とアルバイトで大変な差がある

.....

.....

.....

.....

3. 進路はどこ

人生教育環境になるべく長く（所得、就職率）
大学選び・・・いま大学はどうなっているの（選抜大学・推薦大学・全入大学の3極）
認知、難易度だけではなく、子供にあった大学をさがす
オープンキャンパス、会場説明会をフルに活用する
入試制度をしっかりと理解して、ふだんの大学もみよう
教育環境をみる・図書館、学生ホール、食堂に行ってどんな学生かを見る
・教室では静かに勉強しているか
進学する子供には誓約書を書かせる

.....

.....

.....

.....

4. 社会の求める人材になる

- 基礎学力（高等学校）がある人
 - 集団でうまくやれる人
 - 健康人
 - 人生の基盤は高校時代（教育・体力）
-
-
-
-

5. 親の役割（心構え） 親は何をしたらいいのか

- 子供の進路先を知る（時代の流れは速い）
- 子供の前を歩かないで、よき相談相手になる
- 親ばなれ、子ばなれを心がける
- 親の考え方を伝える
- 子供はリーダー（ボス）の背中を見て育つ（家庭では親、学校では先生）

〈親・子の絆6か条〉

- | | |
|------------------|---------------|
| ①我が家の“おきて”をつくる | ④子供の喜怒哀楽を共有する |
| ②家のボスは誰かをはっきりさせる | ⑤子供に集団生活をさせる |
| ③父親、母親の役割を明確にする | ⑥食事をきちんとさせる |
-
-
-
-

6. 健康が大切

- 3食きちんと食べているか
 - 生活リズム 昼・夜メリハリのある生活か
-
-
-
-

◆プロフィール

女子栄養大学 理事 学園政策・運営（広報・教務学生）担当
染谷 忠彦（そめや ただひこ）

1943年生まれ。東京都出身。

＜要約＞ 現在、女子栄養大学の常任理事として学園運営（政策、広報、教学）を担当している。先駆けた大学改革・入試改革・教学改革（学部・学科設置、教務諸制度の整備）など斬新な広報などを手がけることで、マスコミ（TV・新聞・雑誌）でも話題に。また、私立大学での実績を生かして、公立大学法人第1号秋田県の国際教養大学の立ち上げを準備段階から運営まで協力して成功させている。ほかに、全高進大学進学指導研究委員会委員・高等学校評議会委員・高等学校キャリアスーパーバイザー・日本私立短期大学協会広報委員会委員を務め、進路指導勉強会やPTA総会、学校経営セミナー等でも幅広い講演活動を行っている。特に「受験生と親がどのように受験を乗り切るか」についての講演が多い。現在、学園の運営と、主に高校での進路指導の方法・思春期の子を持つ親の役割・大学の募集戦略等のアドバイザーとして活躍している。